



図書館員のオススメ

「あなたがだいすき」

リザ・ペイカー／著

こんな絵本を両親からもらったらどんなにうれしいか！自分が親になった時この絵本を子どもに贈りたい！

世界中の子どもたちと、お父さんお母さんに読んでもらいたい。シンプルで、とても愛に満ちあふれている一冊です。



私の好きな本

「ママじゃらん北海道 2011-2012 秋冬」

ママたちのお出かけを応援する本“ママじゃらん”。暑かった夏も終わりお家にこもりがちになる季節ですが、ママじゃらんを持っていろいろな所に出かけ、子どもと一緒にずっと記憶に残る思い出を作っていきたいと思えます。(M.Sさん)



～クリスマス会～

今年も幼児・児童を対象としたクリスマス会を行います。おはなしキャラバン協力員の方々と図書館職員による楽しい催しやクリスマスカードの飾りつけを予定しています。多数のご参加をお待ちしています！参加は無料です。

と き：12月17日(土) 午前10時～11時
ところ：鹿追町図書館2階視聴覚室



～年末年始の休館のお知らせ～

今年もたくさんの方に鹿追町図書館をご利用いただきありがとうございます。来年もより一層、皆さまに利用していただける図書館を目指していきますので、よろしくお願いいたします。

《年末年始の休館日》

12月31日(土)～1月5日(木)
※12月30日(金)は午後3時で閉館



雪と氷と動物たち

くたくましい動物たちの足跡

根

雪が湖畔を白く染める12月上旬。日中の気温はプラスにならない日が続くようになります。

見た目も体感的にも冬本番、まだ体が寒さに慣れていないのか、服を一枚多く着込んで寒く感じます。しかし、寒かろうが雪だろうが、モコモコの冬毛を身にまとった森の生き物たちは活発に動き回っています。

人

湖畔には、薄く積もった雪のおかげで、そんな生き物の痕跡が簡単に見つけられません。

それは足跡。キツネ、タヌキ、クロテン、エゾリス、ネズミ、シカなどの足跡があつちに行ったり、こつちに行ったり。間隔が広い急ぎ足だったり、ユキウサギの足跡を追い掛けるようにキツネの足跡

があつたりと、痕跡は森の中はもちろん、ホテルのすぐ前にもあつたりします。

日中なかなか姿を見ることのできない動物たちですが、夜の湖畔は動物たちの領域なんです。

透

明な氷が威勢よく湖面に張り出す12月中旬。快晴無風の夜から朝にかけて、放射冷却現象により一段と気温は下がります。

氷は、湖の一番南の「一の湾」やホテル前の「二の湾」から張り始めます。張ったばかりの氷は当然薄く、その上に乗ろうなんてことは間違つてもしない方が身のためです。



湖上の足跡

氷はそのまま全面結氷へ向かうわけではなく、強風が吹けば波に砕かれ、手前の岸に寄せられたり、はるか沖に流されたり。また、寒風吹きすさぶ日中であれば、見ているそばから氷が沖に向かって伸びていきます。

氷は一進一退を繰り返し、下旬には湖全面が氷で覆われ、春まで眠りにつきます。

氷

上につつすらと雪が積みます。

すると、たちまち動物の足跡が現れます。キツネの散歩の跡がテンテンと雪面に続き、クロテンが縄張りを巡回して



砕かれた氷

いる跡が見られ、一晩たつと新たな足跡が増え、さらに一晩たつとまた新たな足跡が増えていきます。

雪が降ったり風が吹くと足跡は消えます。しかし、踏みつけられた雪は硬くなり、強風が吹くと周りの粉雪が飛ばされ足跡の部分だけがテンテンと盛り上がり残ります。なかなか面白い風景です。

厳

冬の然別湖ですが、そこを見ると、かえってたくましさを感じる季節です。



結氷

▼ 新 刊 案 内 ▲	一般教養書	
	紙の科学	／半田伸一
	ねこ背は治る！	／小池義孝
	ミミズのはたらき	／中村好男
		／後藤利夫
	一般文芸書	
	一分ノ一 上・下	／井上ひさし
	女神のタクト	／塩田武士
	虚空の冠 上・下	／楡 周平
	緋色の楽譜 上・下	／ラルフ・イーザウ
	文庫・新書	
	あなたは誰？私はここにいる(集英社新書)	／姜 尚中
	本へのとびら(岩波新書)	／玉村豊男
	乱れ髪残心剣(二見時代小説文庫)	／森 詠
	幻影(二見文庫)	／キャサリン・コールター
	絵本・児童書	
	なんにもないけどやってみた	／栗山さやか
	父さんの手紙はぜんぶおぼえた	／タミ・シエム＝トヴ
	モリくんのりんごカー	／かんべあやこ
	王国のない王女のおはなし	／アーシュラ・ジョーンズ
	■ この他にも新刊を用意しています。ぜひご来館ください。	